

案件概要書

2024 年 6 月 25 日

1. 基本情報

- (1) 国名：バングラデシュ人民共和国（以下、「バングラデシュ」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：チョットグラム管区チョットグラム県（人口約 916 万人（国勢調査、2022 年））及びコックスバザール県（人口約 282 万人（国勢調査、2022 年））
- (3) 案件名：チョットグラム - コックスバザール幹線道路整備計画 フェーズ 2（Ⅰ）（以下、「本計画」という。）
（Chattogram – Cox’s Bazar Highway Improvement Project Phase 2（Ⅰ））
- (4) 計画の要約：
本計画は、国道 1 号線のチョットグラム - コックスバザール区間において、既存道路を改良することにより、同区間の交通の円滑化とマタバリ深海港へのアクセス向上を図り、もって沿線地域の経済発展及び当国の物流促進に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

バングラデシュは南西アジア地域の安定と経済発展に重要な役割を果たしており、インド及びミャンマーと国境を接し、地域の連結性強化等の観点から「自由で開かれたインド太平洋（F O I P）」において重要な位置を占めている。独立以降、一貫して我が国との友好関係を維持しバングラデシュにとって、我が国は最大の二国間開発パートナーであり、2023 年 4 月の「戦略的パートナーシップに関する日バングラデシュ共同声明」では、ハシナ首相から日本の過去 50 年にわたる多大かつ効果的な支援への謝意と L D C 卒業への大きな貢献への認識が示されている。

同声明において、両首脳はベンガル湾産業成長地帯（B I G - B）構想の下での南部チョットグラム地域のマタバリ深海港を含むプロジェクトにおける著しい進捗を歓迎しつつ、チョットグラム - コックスバザール幹線道路整備を含め、南部チョットグラム地域の開発における協力を模索することを確認している。

本計画は、日・バングラデシュ首脳会談の共同声明で明示的に言及された案件であり、同声明で岸田総理から説明された F O I P のための新たなプランの第三の柱「多層的な連結性」の旗艦的な取組である「ベンガル湾からインド北東部を繋ぐ産業バリューチェーンの構築」を具現化するものであり、その実施は外交的意義が高い。

- (2) 当該国における道路セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

対バングラデシュ人民共和国国別開発協力方針（2018 年 2 月）における重点分野「中所得国化に向けた、全国民が受益可能な経済成長の加速化」において、国際標準に則った質の高い運輸・交通インフラを整備し、人とモノの効率的な移動を促進させ地域の連結性向上に貢献することが掲げられており、本計画はこれらの分析・方針に合致する。また、対バングラデシュ人民共和国 JICA 国別分析ペーパー（2023 年 3 月）においても「連結性強化」を主要な開発課題とし、幹線道路の支援を通じた輸送能力向上に貢献するとしている。JICA グローバル・アジェンダ（2022 年 6 月）の運輸交通分野における協力方針「グローバルネットワークの構築」にも資するものである。さらに、日本及び当国政府が掲げるベンガル湾産業成長地帯（BIG-B）構想の実現、また、マタバリ港の利用促進を通じた近隣諸国との輸送ネットワークの効率化及び陸路でのインド北東部等との連結性強化の観点から「自由で開かれたインド太平洋」のための新たなプランが掲げる取組の一つである「ベンガル湾からインド北東部を繋ぐ産業バリューチェーンの構築」に資するものである。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 道路改良（片側 2 車線の自動車専用道路及び片側 2 車線サービスレーンへの拡幅（計 100.7 km）ならびに片側 3 車線のフライオーバーの建設（計 6.3km））（詳細は協力準備調査にて確認。）

イ) コンサルティング・サービス（F/S レビュー、詳細設計、入札補助、施工監理、環境社会配慮支援、交通安全対策の実施等）（ショート・リスト方式）

② 期待される開発効果

年平均日交通量（PCU）の増加（19,511（基準値）→95,600（目標値））、本計画区間平均所要時間（分）の短縮（142（基準値）→93（目標値））、旅客数（人／日）の増加（88,000（基準値）→350,000（目標値））、貨物量（トン／日）の増加（10,700（基準値）→50,000（目標値））により、沿線地域の経済発展、当国の物流及び投資の促進が期待される。

③ 借入人（円借款の場合）

バングラデシュ人民共和国政府（The Government of the People's Republic of Bangladesh）

④ 計画実施機関／実施体制

道路交通橋梁省道路・国道部（Roads and Highways Department, Ministry of Road Transport and Bridges。以下「RHD」という。）

⑤ 他機関との連携・役割分担

協力準備調査にて確認

⑥ 運営／維持管理体制

RHD のチョットグラム地方事務所とその支局が維持管理を担当。RHD は円借款事業含め複数事業での経験を通じ、十分な能力を培っており、道路舗装の補修に

については技術面での懸念はない。財政面については毎年の必要予算の調査結果を踏まえ、道路交通橋梁省が配賦。改良予定の自動車専用道路部分の有料化有無含め、詳細は協力準備調査にて確認。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：A
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件），ジェンダー対象外

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

- モロッコ向け円借款「カサブランカ市南部バイパス建設計画」（評価年度 2007 年）の事後評価等から、バイパス道路を建設する場合、地域分断の観点から最新の現場情報や周辺住民の意見を反映し、必要な数の横断構造物を計画・設計に取り入れることが重要との教訓が得られている。本計画においても、横断構造物の検討に際して住民の意見を取り入れつつ、適切な設計や施工方法を検討する予定。

以 上

[別添資料] 地図「チョットグラムーコックスバザール幹線道路整備計画」

[別添資料] 写真「チョットグラムーコックスバザール幹線道路整備計画」

地図「チョットグラムーコックスバザール幹線道路整備計画」



出典：「チョットグラム - コックスバザール道路整備事業準備調査」最終報告書より
JICA作成

写真「チョットグラムーコックスバザール幹線道路整備計画」

